

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

2018年9月6日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**GSユアサの国際宇宙ステーション用リチウムイオン電池の  
第2回打ち上げが決定**

GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(社長:加藤 泰一郎、本社:京都府福知山市。以下、GYT)製の国際宇宙ステーション(以下、ISS)用リチウムイオン電池が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(理事長:山川 宏、本社:東京都調布市。以下、JAXA)殿の宇宙ステーション補給機「こうのとりのり(HTV)」7号機に搭載され、9月11日に種子島宇宙センターから打ち上げを予定されています。

GYT製のISS用リチウムイオン電池を使用した新型バッテリーは、ニッケル水素電池を使用した旧型バッテリーに比べて半数の24個で同等の容量をまかなうことができ、輸送コストの低減に貢献します。また、ISSの基盤となる設備に日本製の機器が採用されたのは、これが初めてです。

GYT製のリチウムイオン電池は高エネルギー密度、長寿命が特長で、これまでも国内・海外の多くの宇宙機やロケットに搭載されてきた実績と信頼性、また高率充放電が要求されるISSの運用に最適な設計であることが認められ、2012年にISS用バッテリーへの採用が決まりました。

ISSでは、生命維持のためのシステムをはじめとして、実験および観測装置など、すべての機器のエネルギーが太陽光パネルで発電した電力でまかなわれ、ISSに一日に16回訪れる夜間の電力は昼間に充電されたバッテリーからすべて供給されます。

この新型バッテリーは4回に分けてISSへ輸送されることが発表されており、今回は2016年12月<sup>※1</sup>に続き2回目の輸送となります。輸送後は宇宙飛行士の船外活動によって新型バッテリーへの取替えがおこなわれる予定です。

GYT は特殊用途の電池や電源を開発・製造販売しており、海・陸・空(水深 6,500m の深海から、上空 36,000km の宇宙空間まで)の特殊環境フィールドで、高性能かつ高品質な電池をお届けしています。

今後も高性能リチウムイオン電池の開発・製造を通じて、宇宙開発事業へ貢献してまいります。

※1 2016年11月21日付ニュースリリース「GSユアサのリチウムイオン電池が国際宇宙ステーションに搭載～2016年12月から輸送開始～」

([http://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs161116032617\\_315](http://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs161116032617_315) 参照)

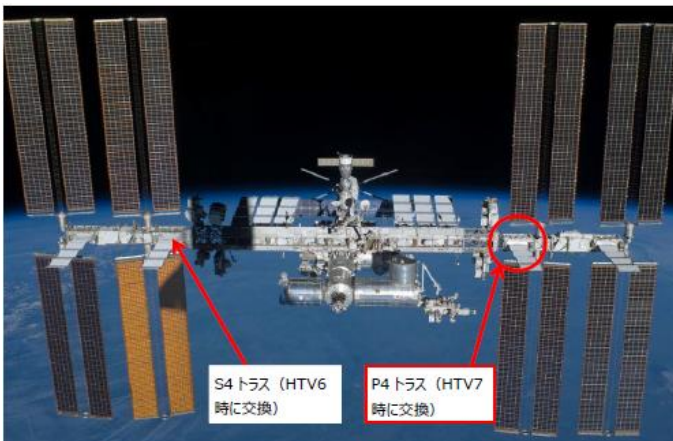
【ISS 用リチウムイオン電池(セル)の仕様】

公称電圧(V)	3.7
公称容量(Ah)	148
寸法(mm) <sup>※2</sup>	W130×D50×H263
質量(g)	3,530

※2 寸法 H はスタッドボルト部除く

【写 真】

1. 国際宇宙ステーション(提供:JAXA)



今回交換を行うバッテリーの位置

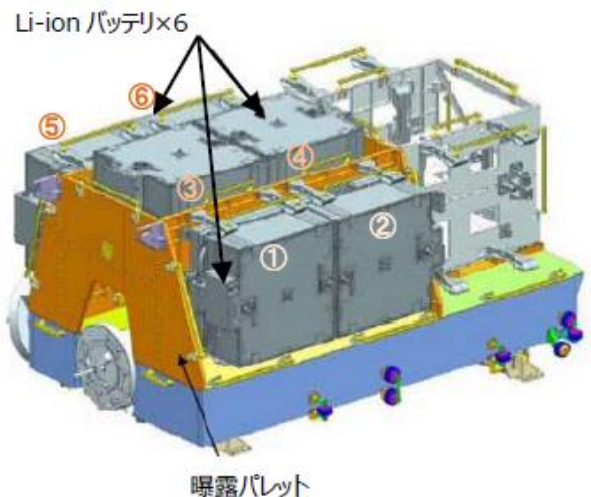
2. GYT 製の ISS 用リチウムイオン電池(セル)



3. 「こうのとり」7 号機に搭載される ISS 用リチウムイオンバッテリーを取り付けた曝露パレット (提供:JAXA)



4. 「こうのとり」6、7 号機打ち上げ時の曝露パレット上の搭載イメージ(提供:JAXA)



【この件に関するお客様からのお問い合わせ先】

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03 - 5402 - 5867

【この件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 GSユアサ 広報・IR室 TEL 075 - 312 - 1214